

2013 年度 第 1 回 鋼構造運営委員会 議事録

- 1 . 日時** 平成 25 年 5 月 23 日(木) 14 時 00 分 ~ 17 時 00 分
- 2 . 場所** 建築会館
- 3 . 出席者** 多田元英, 五十嵐規矩夫(玉井委員代理), 井戸田秀樹, 岡本哲美,
(敬称略) 木村祥裕, 向野聡彦, 河野 守, 吹田啓一郎, 竹内 徹, 中島正愛,
成原弘之, 藤澤一善, 藤田正則, 増田浩志, 緑川光正, 宇佐美徹(記録)
欠席:一戸康生, 越智健之, 笠井和彦, 河野昭彦, 澤本佳和, 田川泰久,
玉井宏章, 寺田岳彦, 中込忠男, 西山 功, 山田丈富

4 . 配付資料

- 01-01 2013 年度第 1 回鋼構造運営委員会議事予定(多田主査)
01-02 2012 年度第 4 回鋼構造運営委員会議事録(案)(寺田委員)
01-03
01-04 2013 年度第 1 回鋼構造座屈小委員会議事録(案) (井戸田委員)
01-05 鋼構造接合小委員会(増田委員)
01-06 2013 年度第 5 回鋼構造制振小委員会議事録(案)(緑川委員)
01-07 鋼構造耐火設計小委員会 第 14 回議事録(案)(河野^守委員)
01-08 鋼構造環境小委員会 2012 年度第 5 回議事録(藤田委員)
01-09 第 17 回鋼構造素材小委員会議事録(案)(山田委員)
01-10 2012 年度鋼構造塑性設計小委員会第 5 回議事録(案)(玉井委員)
01-11 2012 年度第 4 回東日本大震災鋼構造被害検討 WG 議事録(案)(緑川委員)
01-12 PD 資料 建築構造用鋼材特性の現況とその活用(山田委員)
01-13 質疑回答の一覧(井戸田委員)
01-14 出版物の維持管理(多田主査)

5 . 議事内容

- (1) 資料 01-02 に基づき前回議事録の確認がなされた .
- (2) 資料 01-04~01-11 に基づき、各担当委員より小委員会報告がなされた .
座屈小委員会(資料 01-04, 井戸田委員)
- ・ 講習会の参加者は東京 173 名/定員 220 名,名古屋 67 名/定員 150 名(5/23 現在)である . (井戸田委員)
 - ・ 多田委員の退任, 津田委員の就任が提案され, 承認された .
 - ・ 今季の活動は座屈指針のアップデートとしているが, 新たな検討項目はあるのか . (中島委員)
- 『座屈に関する諸問題 2013』にも反映されているが, かなりの項目がある . 改めて本年度の重点審議で報告する . (井戸田委員)

- ・ 若手委員の登用を含め、委員の公募はしないのか。(中島委員)
活動を進める中で考えていくが、公募より推薦の方が若手委員の登用につながる。(井戸田委員，竹内委員)
- ・ 枠囲みのない形式を指針とすることについて学会内で意見があるため、議論してほしい。(多田主査)

接合小委員会(資料 01-05, 増田委員)

- ・ 高力ボルト接合部設計施工ガイドブックについては、接合部設計指針との補完関係を調整しておいた方がよい。(中島委員)
- ・ 接合部設計指針との補完関係を考えるとき、柱脚設計施工ガイドブックは本当にあった方がよいのか。(中島委員)
認定品が多く多様化している中で、質問も多く利便性を考えて出版することとした。認定品の表現等の取り扱いは検討していく。(増田委員)

制振小委員会(資料 01-06, 緑川委員)

- ・ 鋼構造運営委員会査読は 5-6 月 構造委員会査読は 8-9 月で 2014 年 5 月出版予定。(緑川委員)
- ・ 接合部設計指針等、他の指針と齟齬がないか調べておいた方がよい。(中島委員)
モデル化に関する 6-8 章は一般論として記述した。(緑川委員)

耐火設計小委員会(資料 01-07, 河野^守委員)

- ・ 平山委員(新日鉄住金)の就任が提案され、承認された。
- ・ 今期は耐火設計指針の改定はしないが、新しい知見も増えているので 2016 年を目途に改定を考えている。(河野^守委員)

環境小委員会(資料 01-08, 藤田委員)

- ・ 2015 年度を目途にガイドブックの出版を考えている。(藤田委員)
- ・ 期限付き建築物小委員会がまとめた「期限付き建築物設計指針」に学会内外から意見が出ているため、詳細を把握しておいてほしい。(多田主査)

素材小委員会(資料 01-09, 成原委員), 塑性設計小委員会(資料 01-10, 五十嵐委員)

- ・ 特になし

東日本大震災鋼構造被害検討 WG(資料 01-11, 緑川委員)

- ・ 鉄骨造建築物 6 章(学校建築物の被害)とシェル・空間構造 2 章(学校体育館)については、重複がないように調整している。(竹内委員)

- (3) 資料 01-12 に基づき、成原委員より建築雑誌に記載される本年度 PD の案内について説明がなされた。
 - ・ 意見があれば早急に連絡のこと。(多田主査)
 - ・ 来年度の PD のテーマに関しては、塑性設計小委員会以外にも候補があれば次回運営委員会まで提案のこと。(多田主査)
- (4) 資料 01-13 に基づき、井戸田委員より関連書籍の質疑回答について説明がなされた。
- (5) 資料 01-14 に基づき、多田主査より鋼構造運営委員会の所轄する出版物の維持管理担当者について説明がなされた。

- ・ 在庫状況が事務局より連絡されるので，改定または増刷の判断はその都度行うこととする．(多田主査)

6．その他

- ・ 構造委員会で基本方針の一つである“規準・指針類の国外情報発信”に関する具体的行動計画として規準・指針類の英語版の(電子)出版があり，対象指針(鋼構造設計規準あるいは限界状態設計指針)について議論は必要であるが，鋼構造運営委員会として積極的に参画する．
- ・ 指針作成は小委員会で取りまとめているため，各指針を横断的に整理することが(委員会等で)できないか．(井戸田委員)
- ・ 今後の重点審議は次の通り．
 - ✓ 第2回運営委員会(7/22):塑性設計小委員会
 - ✓ 第3回運営委員会(8/29):なし
 - ✓ 第4回運営委員会(12月上旬):被害報告WG，接合小委員会(12月の運営委員会は13:00~17:00)
 - ✓ 第5回運営委員会(3月末):座屈小委員会
- ・ 高力ボルト接合設計施工ガイドブックの査読者は向野委員と山田委員．
- ・ 今後の運営委員会の日時，場所は以下の通り．
 - 第2回運営委員会 2013年7月22日(月)、14:00より建築会館で実施．
 - 第3回運営委員会 2013年8月29日(木)、15:10より会議・研修施設ACU(北海道)で実施 <http://www.acu-h.jp/>